



さくらじま便り

「桜島のみんなとつながる」を目指して

SAKURA
JIMA
DAYORI
第3号
2020年4月発行

学校で育てた苗木を、
自分達の手でさくらじまに植えた
20回目の植樹祭

発行・編集 / さくらじま地域おこし協力隊
Photo・Editor / Akane Masudome
Design / Yurina Yamashita
Thanks / たなカメラ

冊子をおいて頂ける場所、応援していただける
方を募集しております。感想も大募集中です。
| お問い合わせ先・感想 |
TEL 099-245-2550(増留)
MAIL a.masudome@sakurajima.gr.jp

今月の桜島人
サクイチナイトウォーク

改新地域
コミュニティ協議会
グランドゴルフ大会

桜洲校区
コミュニティ協議会
飾り巻き寿司作り

二年生十四名が
迎えた立志式

「特集」二十年続く植樹活動
地球に緑を、
桜島を緑に！

CONTENTS



苗から育てていくことで、自分たちの未来を考へてもらいたい」「環境のことやその影響について考えるきっかけとなつて欲しい」という強い想いから、島内だけでなく、鹿児島市内や垂水市の学校でも苗を育て、この植樹祭に一齐に参加する大きな行事となりました。これまで、延べ二万本の木々が、累計約一万人の子どもの手で植えられてきたそうです。

しかし、今年は残念ながら新型コロナウイルスの影響もあり、島外の参加校を呼ぶことはできませんでした。それでもさくらじまの子ども達を含め九十八名の参加の下、皆で協力しながら、穴を掘って、しっかりと埋めて、約九百本の木々の植樹を行うことができました。

参加した各校の生徒さんが先生、親御さんと共に一本一本定植した木々は、地中に根をしっかりと張るまでに約三年掛かるそうです。すでにこれまでに植樹された木々は、人の身長を優に超えるほどの高さに生長しており、それは植樹後の管理作業がしっかりと行われていることが良く分かるほど美しく並んでいます。数年後には、生長した木々が広がり、活動に参加した子ども達が、この時を思い出しながらどんぐり探しにやってくる日が来るのではないのでしょうか。

こういった活動を通して地域の魅力や自然に触れられる体験が日々できること、そして多くの方の想いによってさくらじまは支えられていることを知る機会が、この土地にはちりばめられています。



第20回 桜島 地球に緑を、桜島を緑に!! どんぐりころころ 植樹祭イベント

子供達が大きくなったから自分の植えた木を見に来て欲しいなー



桜島で二十年続く植樹活動

二〇二一年二月二十七日に「桜島どんぐりころころ植樹祭」が赤水探石場跡地(鹿児島市有地で、あの伝説の夜のモニュメント「叫びの肖像」近く)で開催されました。

名前の通り、植林樹種は私たちが一般的に「どんぐり」と呼んでいる実をつける樹種で、今回は「アラカシ」「ウバメガシ」「マテバシイ」の三種の広葉樹。活動を始めた当初は、他の樹種の植林も検討されていたようですが、桜島が国立公園の一部ということもあり、もともとその地にある樹種のみを植林、またその地の土のみを使用するというのが決まっています。

この植樹の始まりは、現在も桜島に広がるクロマツがマツクイムシの被害を受け、一部の木々が赤茶色になってしまったという過去がきっかけでした。そして、島内の学校に現職時代勤めた経験のあった、本活動の会の現実行委員長が島のために何かしたい、という温かな想いから活動が始まりました。

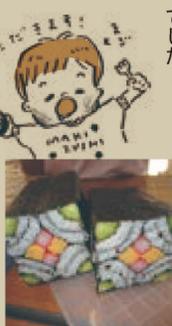
子ども達に「自ら木を

ほかの地域では何してるの？

桜洲・改新編

飾り巻き寿司作り
桜洲校区コミュニティ協議会

昨年十二月、女性学級では飾り巻き寿司作りが行われました。丸型の巻き寿司に比べ、飾り寿司は具の並べ方も複雑で、先生に指導いただきながら、出来上がるまでどんな切り口になるのかわかりません。「難しい」と言いながらも、参加した皆さん自分の作った三本の巻き寿司の出来栄えにとっても満足の様子、喜びもひとしおでした！



ランドゴルフ大会
改新地域コミュニティ協議会

二月十四日、古里公園にてランドゴルフ大会が行われました。一チーム五人体制で計六チーム、私達もその中のチームとして参加させていただきました。

和気あいあいとした雰囲気の開会式後、地域から参加された方の熱練されたいきなりのホールインワンから大会は開始。全部で八つのコース、ランドゴルフは初めてで不安もありましたが、一緒にコース回っていたチームの方が丁寧に打たれてくれました。

インターシッポの二人がレポート

四月からは三年生、さくらじま最後の学生生活、仲間とともに存分に楽しんでください！あらためて、皆さんおめでとうございませう！



立志式
立志式の前、一月下旬には、地域の農家やスーパー、コンビニ、工場等での職場体験が行われ、社会に出て「働く」ということを生徒の皆さんは学ぶ機会があり、そこで感じたことを今後の決意として漢字一文字を選び、ステージで一人ずつ発表しました。



二〇二二年二月四日、桜島中学校の二年生十四名が、先生方そして保護者の方々も参加するなか立志式を迎えました。和太鼓の音が空気を伝えて響き、床からその力強さが伝わってきた会場は、厳かな雰囲気の中、開会されました。

最初に中尾校長より式辞が述べられ、その中で、幕末時代に活躍した橋本左内が十五歳の時に、大人になっていく自分を律するため書き下ろした「啓発録」から五つの言葉が送られました。その中で、人生を作り上げるのは自分自身であり、同時にそこには責任が伴うこと、諦めずに継続すること、学ぶことを続け、その学びを世の中で活かすこと、切磋琢磨し支え合える友を大事にすること、という十四名の皆さんが、これから人生を歩んでいく上で支えとなる言葉が込められていました。

立志式の前、一月下旬には、地域の農家やスーパー、コンビニ、工場等での職場体験が行われ、社会に出て「働く」ということを生徒の皆さんは学ぶ機会があり、そこで感じたことを今後の決意として漢字一文字を選び、ステージで一人ずつ発表しました。

ある生徒は、「何事も諦めず」と、数年後に成人を迎えること

「美感はまだ持てないが、芸術関係の仕事に将来は関わりたい。」と話してくれました。また、今回もに式を迎えた仲間を「人数は少ないが、皆仲がいいので、こういった仲間と一緒に嬉しい」と桜島ならではの様子を語ることができました。

また、その様子は式後の片付けの時もよく表れていました。お互い声を掛け合い、自ら動いて笑顔がともに溢れるそんな自然体の姿。人数が少ないからこそ、自主性が生まれ、当たり前のように声を掛け合ったりして、かけがえのない友となっているように見えました。

将来への決意を仲間とともに
二年生十四名が迎えた立志式

かつては数え年の十五歳が成人とされ、そのお祝いの行事として行われていた立志式。生徒は将来への決意を表明することと、自立への意識を高めることを目的に行われる行事です。



さくらじままでインターシッポをしています!!
NPO法人桜島ミュージアムでインターシッポをしている二人に、地域の活動に参加してもらいました！

志学館大学1年生 小西 麻綾さん
志学館大学1年生 大迫 りおんさん

さくらじま便り「閲覧可能場所」
さくらじま島内では、閲覧冊子として地域の方々にご覧いただけます！

- ・さくらじま白浜温泉センター様
- ・MINATOCAFE様
- ・桜島支所/東桜島支所
- ・桜島公民館
- ・鹿児島市ホームページ

編集後記
本誌を作っていると思ってもよらないことが起ります。そうして、悩みながら形になりました。皆さんの声や、お返事を待っています。今後は地域の皆さんと繋がらせていただきながら、桜島の良さを多くの方に伝えていきます！

自己紹介

2児の母/イラストレーター
山下 ゆりな

仕事
・イラストを描く
・グラフィックデザインをする
・カフェスタッフ
・たまに講師やマルシェ出店

好きな場所
赤水港

ハマっていること
子どもの使うものに鬼滅の刃のキャラクターを描く

名物の「樫ちゃんぽん」はどのようにして生まれたのですか？

「樫の里」を立ち上げる十年ほど前に、県外から鹿児島市に引っ越してきたのですが、まさかその時は、お店を持つなんて考えていませんでした。最初の一年は、桜島の生活を楽しくしていました。が、さすがに何かしなないと、色々やりました。そんな中、黒神埋没島居前の家屋が灰まみれの状態になっていたことが気になっていました。「多くの親

光客がこまごまと足を運んでくれるのに、これでは恥ずかしい、何かで返してあげたい、そんな気持ちから、お店を出して、特にお店が残り、今に至ります。ただ、ちゃんぽんを作った経験はなく、お客さんの「美味い！」の声をままた作ってきた、「こんな分量でほんとに大丈夫？」と今でも思います(笑)

その後、工夫を凝らしていく中で、身近にあった樫油が目にとまり、ちゃんぽんにいれてみると、味が滑らかさが出て、「これはいい！」と思い、「これから「樫ちゃんぽん」が生まれました。ふんだんな樫油が必要となのでその時期から友人知人の協力を得て、毎年樫の種を集めたり、樫畑の整備も少しずつ行っています。

営業時間 十一時十五分頃まで/定休日火曜
所在地 鹿児島市黒神町六七〇-三七
問い合わせ 樫の里 ☎090-4484-0849

「樫の里」を立ち上げる十年ほど前に、県外から鹿児島市に引っ越してきたのですが、まさかその時は、お店を持つなんて考えていませんでした。最初の一年は、桜島の生活を楽しくしていました。が、さすがに何かしなないと、色々やりました。そんな中、黒神埋没島居前の家屋が灰まみれの状態になっていたことが気になっていました。「多くの親

光客がこまごまと足を運んでくれるのに、これでは恥ずかしい、何かで返してあげたい、そんな気持ちから、お店を出して、特にお店が残り、今に至ります。ただ、ちゃんぽんを作った経験はなく、お客さんの「美味い！」の声をままた作ってきた、「こんな分量でほんとに大丈夫？」と今でも思います(笑)

その後、工夫を凝らしていく中で、身近にあった樫油が目にとまり、ちゃんぽんにいれてみると、味が滑らかさが出て、「これはいい！」と思い、「これから「樫ちゃんぽん」が生まれました。ふんだんな樫油が必要となのでその時期から友人知人の協力を得て、毎年樫の種を集めたり、樫畑の整備も少しずつ行っています。

第二回 今月の桜島人
樫の里 大山 眞弓さん
前回の田中もえさんからのご紹介

「樫の里」での思い出やこれからの想いを教えてください

始めた当初は、休みなしで三年間、店を開けていました。元旦や大晦日も、一人でも来てくれる方もいるので、「鳥居を見に来て下さってもそれ以外もなかったり、土地勘がない中でようやく見つけた一軒だった、それって樫ちゃんぽんを目的にわざわざ来て下さる方、そんな方々がせっかくなので足を運んでくれるのにお店が開いていないことで、残念な思いをして、桜島に悪い印象を抱いて帰って欲しくない。」そんな想いで、今もできる限りお店を開けています。

そんな中、嬉しいことに県内外から多くの



リピーターの方々も来てくださいます。「また来るねー」そんな言葉に「来年も頑張ろう！」、そういう気持ちにさせてもらい、ここまでやってきました。一人の力は限られているけれど、周囲の協力や皆さんの口「ミ」で続けてられています。中には嬉しいかったですね。こういった色んな出会いがあるからこそ、やめられません。これからもできる限り、無理なくそんな気持ちでやっていきたいと思っています。

桜島居住者は割引がおりますので、事務局までご連絡ください

桜島ナイトウォークが新生『サクイチナイトウォーク』として復活！「サクイチ」とは「桜島一周」の「いちばん」の「いちばん」

／ 星空を見ながら桜島を一周 ／

サクイチナイトウォーク

2021



イベント日程
5/1 Sat. ~ 5/2 Sun.

WEBサイト公開中
 ご予約・お支払いはこちら
 「サクイチナイトウォーク」で検索



鹿児島県内在住者限定 ※感染症対策のため
定員300人先着イベント 予約受付期限 **4/25_23:59**まで

コース 桜島一周(35km) ※徒歩で一周して頂きます
 所要時間は、9時間程度
参加料 一般2,200円 18歳以下1,700円
集合場所 桜島総合体育館
集合時間 19:30~20:30
**桜島居住者割引
 あります！ご連絡下さい**

⚠️ 悪天候により中止の場合は、
 4月28日15時ごろホームページにて通知予定です

⚠️ **18歳以下だけの参加は、保護者記入の同意書が必要です**
 WEBサイトよりダウンロードし記入の上、当日ご持参ください

実行委員会事務局お問合せ: 080-8352-3586



主催：サクイチナイトウォーク実行委員会 後援：鹿児島市 協力：NPO法人桜島ミュージアム

桜島にお住い、及び関係の皆さま
 この度、地域の皆さまからのありがたいお声もあり、桜島一周の歩行イベントを開催させていただくことになりました。開催日の令和3年5月1・2日に於きまして、皆さまの生活やお仕事に支障のないよう準備に努めて参りますが、ご迷惑をお掛けしてしまう場面もあるかもしれません。何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。
 サクイチナイトウォーク実行委員会一同